

「インドと交流した日本人画家」 米学生を受け入れ日本中を案内

宮原 豊 (9組)

今年の正月過ぎた頃だったが、米国メリーランド大学大学院美術史科の大学院生 Chiu 氏から、インドの仏教寺院に壁画を描いた野生司香雪（のうすこうせつ）のことを研究しているので協力してもらいたいと言う趣旨のメールを受けた。

この 65 期サイトにも何回か紹介してきたが、小生がボランティアとして関わっているインド・サールナート初転法輪寺の釈尊一代記壁画の修復工事について情報発信しているホームページ(<https://nosu-kosetsu-tokyo.jimdofree.com>)を見て問い合わせしてきたのであった。早速、野生司香雪画伯顕彰会ホームページ(<https://nosu.info>)を紹介するとともに、香雪に関する資料を紹介しているうちに、博士論文の史資料収集のために日本に来たいと言う。論文のテーマは「インドと交流した日本人画家」で、研究対象は、香雪だけではなく香雪の先輩格に当たる荒井寛方や桐谷洗隣、またそれまで小生も名前も知らなかった石崎光瑠（こうよう）、杉本哲郎という日本画家たちだという。

日本に来るのに日本語の能力はいかほどかと訊ねたら「日本語は出来ます」と自信たっぷりに返事が来たので、日本語でいろいろ質問をぶつけてみたらキチンとした返事が返って来た。実際に会ってみるとゆっくり話せば会話は通じるが、驚くのは旧漢字を含む日本文を読みこなす能力が高いことだった。Chiu 氏は台湾生まれで 28 歳、父母と共に子供の頃からマレーシアに住み、ニューヨーク大学を卒業しメリーランド大学院に進んだそうだ。漢字の意味は理解できるので、後はマレーシアで日本語を独学したという。漢字の音読みと訓読みが混ざる人名や地名には手こずっていたが、なかなか賢い青年であった。

日本各地を一人で研究旅行するのに問題はなさそうだと受入れの協力をすることにした。この時期、コロナの影響で観光ビザでの訪日が出来ないので、香雪画伯顕彰会の名前で招待状を発給、小生が身元保証人となり、厚労省のコロナ対応をしてビザ取得し来日したのは 6 月 2 日。それから福岡（杉本）、香川（香雪）、大阪、京都（杉本）、滋賀（杉本）、福井（香雪）、金沢（光瑠）、富山（光瑠）、長野（香雪）、栃木（寛方）等々を回り、最後は東京で日印協会、仏教伝道協会、早稲田大学図書館、東京芸大図書館、国会図書館を巡って、7 月 26 日にマレーシアの父母の元に帰った。

香雪の生まれ故郷香川県高松市で顕彰会の溝淵茂樹先生に指導いただき、永平寺所蔵のインド壁画の下絵、長野善光寺の雲上殿（納骨堂）壁画、そしてそれ以降小生が合流し長野市篠ノ井の圓福寺の天井画（天女の画）鑑賞、また香雪と近かった荒井寛方の栃木県さくら市ミュージアムでは、学芸員・大木礼子さんの解説に耳を傾けていたが、一緒に行った小生にとっても日印文化交流を知る上で有益な勉強の機会となった(善光寺雲上殿を訪問した時の模様は信濃毎日新聞記事参照。URL <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2022071101861>)。

日印協会では、戦前の會報から桐谷洗隣の投稿文を発見、桐谷の急逝で代わりにインドに渡航することになった香雪の決意表明文など今まで気付かなかった史資料を見つけ、Chiu 氏も博士論文執筆に大きな手応えを感じた様子であった。また、秋野不矩（ふく）、西田俊英の名前を知り、論文執筆のために今後インドに行くことも検討しているそうだが、インドの関係者も紹介したので、「インドと交流した日本人画家」の博士論文の完成が待ち遠しい。執筆が終わるには1～2年は要するという。

なお、アルファベット表記の Chiu は、漢字では邱と書き、発音は「きゅう」だそうです。この機会に、メリーランド大学院の東洋美術研究者（指導教員）のこことを知り、それを通して米国での東洋美術研究の一端を垣間見ることが出来たことは、今後のサールナート壁画修復事業の広報にとって何か役に立ちそうである。

また、善光寺には一緒に行けなかった（参議院選挙投票所立会人と重なった）が、篠ノ井の圓福寺で藤本光世住職（元上田高校校長）に長年の念願かなってようやくご挨拶できたことと、そして香雪の描いた美しい「天女」の天井画を拝見できたことが何より喜ばしいことであった。さらに青木村で父母の墓参りをした後、翌朝篠ノ井に行く途中に一泊した戸倉上山田温泉・亀清旅館でゆっくり温泉に浸かることが出来たのは勿怪の幸いであった。

(2022年7月30日記)

次ページに関連写真2葉：

- ① 篠ノ井圓福寺の藤本光世住職の案内による天井画「天女」を鑑賞
- ② 栃木県さくら市ミュージアム荒井寛方記念館にて

写真①



写真②

